



2023年2月10日

各位

会社名 株式会社大泉製作所
代表者 代表取締役社長 佐分淑樹
(コード番号: 6618 東証グロース)
問合せ先 取締役管理本部長 鶴本貴士
(TEL: 04-2953-9211)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期通期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2023年3月期通期業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 13,000	百万円 700	百万円 640	百万円 480	円 銭 56.55
今回修正予想 (B)	12,000	350	445	180	19.44
増減額 (B-A)	△1,000	△350	△195	△300	
増減率 (%)	△7.7	△50.0	△30.5	△62.5	
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	11,882	598	536	427	50.73

2. 修正の理由

2023年3月期の連結業績予想につきましては、半導体を始めとした原材料不足による車両生産の回復遅延から自動車部品事業の受注見込みを引き下げることとしました。さらに、全事業分野において中国市況の悪化に加え急激な為替変動等、経営環境の悪化が見込まれることを受け連結業績予想を見直しました。

売上高に関しては、主に自動車部品事業の受注見込みを見直し、12,000百万円としました。また、営業利益に関しては、原材料やエネルギー価格の上昇が今後も継続して見込まれること、また受注減少による操業度の低下等の影響を加味し、350百万円としました。一方、経常利益については、第3四半期連結累計期間までに計上された為替差益が損益を下支えしたことから445百万円としました。親会社株主に帰属する当期純利益は、これらの結果を踏まえ180百万円としました。

こうした状況を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回公表した業績予想を下回る見込みとなったため、業績予想を修正いたします。

2023年3月期通期連結業績予想における各事業分野の売上高の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	修正前 予想数値	修正後 予想数値	増減額 (増減率)
自動車部品事業	7,403	5,995	△1,408 (△19.0%)
空調・カスタム部品事業	4,630	5,000	+370 (+8.0%)
エレメント部品事業 他	967	1,005	+38 (+4.0%)
計	13,000	12,000	△1,000 (△7.7%)

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上